

ハマふれんど 会員募集中!

よこはま 市商連

151号 2009年(平成21年5月号)

発行 社団法人横浜市商店街総連合会
発行人 岡野誠一
〒231-0014 横浜市中区常盤町3-24 サンビル2階
TEL. 045-662-0874 FAX. 045-662-5888
eメール kato@yokohama-syoutengai.com
制作 有限会社商店街情報センター

市商連HP <http://www.yokohama-syoutengai.com/>

今年度から市商連が業務受託 福利厚生制度の充実にぜひご加入を!!

市商連では今年度より、横浜市から中小企業従業員のための福利厚生事業、「横浜市勤労者福祉共済事業(愛称、『ハマふれんど』)」を業務受託することになりました。

『ハマふれんど』は、横浜市内の300人以下の事業所を対象に、従業員の「福利厚生」の整備と充実により、働きがいのある職場づくりと、併せて企業の発展に寄与するための制度です。特典満載の『ハマふれんど』にぜひご加入ください。

(制度の詳細は次頁)



『ハマふれんど』2009年度版ガイドブック。
常時利用できるサービスを全て掲載。全会員に配付

『ハマふれんど』の特色

充実した福利厚生を実現
結婚祝金など8種類の給付金品、
住宅資金などの融資、設備の整った
保養所など、充実した福利厚生内容
です。
従業員の定着で事業の充実に
福利厚生制度の充実によって、従
業員が安心して働くことができ、優
秀な人材の確保に役立ちます。
税制面でも有利
事業主が負担した掛金は、損金ま
たは必要経費に全額を計上できま
す。
市の条例に基づく制度なので安心
横浜市の条例に基づき責任を持って
運営していますので安心です。
(横浜市勤労者福祉共済条例、横浜
市勤労者福祉共済条例施行規則)

本号の主な内容 1-2 = 「ハマふれんど」会員募集中 3 = [必活! 商店街仕掛け人] 鶴見区・つくの商店街協組・高橋英昭理事長 4-5 = [元気商店] 鶴見区・鶴見銀座協組「海戸園」 [ただいま修業中] 緑区・谷津田原商栄会「コミュニティ・ストア北八朔町こやなぎ店」小柳雄一郎さん [Myrefresh] 鶴見区・仲通り商和会・植原信吉さん [商店街ユーザーの声] 大澤せき子さん 6 = [FROM市商連] 予算総会開催 [FROM市役所] 平成21年7月7日、経済センサス・基礎調査が全国一斉に行われます 7-8 = [NEWS]



保土ヶ谷区
西谷商栄会
街路灯55基
放送設備一式
新設工事完成

電気料金半額を 実現しました!!

*省エネ・エコ電球(ナショナル製)採用



蛍光電器産業株式会社

神奈川営業所

横浜市青葉区たちばな台2-24-4

TEL.045-962-4517 FAX.045-962-4539

<http://www.sankodenki.jp>



掛金は1人毎月500円、事業主の入会も可

スケールメリットを活かした充実の福利厚生サービスが利用できます

利用できる割引や優待

利用物や各種施設の利用に割引・優待などの特典があります

- 泊まる** 契約ホテル(年度2泊まで5千円補助)や無料保養所(一部有料)の利用
- 健康管理** 日帰り人間ドックを受診する際、会員と配偶者に5千円の補助(年度1回、市内20健診機関)
- レクリエーション** オリジナルツアー、スポーツ大会、コンサート・観劇チケットの特典提供等の企画を毎月、ニュースでお届けします。
- 学ぶ** カルチャーセンターや

会員向け機関紙『ハマふれんどニュース』(毎月発行)(写真は1ページの部分)

- 通信教育の受講に対し、1講座当たり2000円の補助(年度2回)や優待料金での利用
- 身体を鍛える** スポーツクラブの利用に優待(3クラブ23カ所)
- 出かける** レンタカー、駐車場観光船、旅行代理店の利用に割引や優待・特別料金
- 観る・遊ぶ** 映画館、劇場、スポーツ観戦、水族館、動物園、レジャーランド、展望台、ゴルフ場、テニス、ボウリング、海釣り、マリンスポーツ、スキー場、ピリヤード、フィットネス、温泉・スパ
- 等の利用に割引や優待
- 食べる・買い物をする** 中華街、レストランの利用、デパートや優待特約店での買い物に割引や優待
- 結婚する** 結婚式場・結婚情報サービスの利用に割引や優待
- 葬儀** 葬儀時の基本料金等の割引

給付

人生の節目を応援

- 結婚・出産・入学・結婚記念の祝金、入学・永年勤労の祝い品、傷病見舞金、死亡弔慰金、加入褒賞金があります。

研修・教養講座

- 従業員の皆さまのスキルアップをお手伝い
- ・研修Ⅱ 新入社員研修(4月開催)、中堅社員研修(年数回開催)
- ・教養講座Ⅱ パソコン・手芸・料理・和太鼓・着付け・簿記教室 ほか

融資

- 医療・教育、住宅購入資金等への融資制度を実施
- ・医療・出産・冠婚葬祭・旅行・災害・教育などの資金(融資限度額50万円)
- ・自己の住宅の新築・購入・増改築のための資金(融資限度額5百万円)

* 詳細は、本号と一緒に配りした「ハマふれんど」パンフレットをご覧ください

市商連では、新規会員6千人を目標に事業を進めます!

社団法人横浜市商店街総連合会(市商連)は、2009年度より、横浜市の中小企業振興策の一つ、「横浜市勤労者福祉共済事業」(愛称、「ハマふれんど」)の受託事業者となりました。

従来の受託事業者である(財)横浜市勤労者福祉財団(以下、財団と略)の解散に伴う、横浜市の受託事業者募集(公開入札)に応募し、認められたものです。このため市商連では、本年2月26日に臨時総会を開催、定款に本事業を加えることを諮り、承認されました。

事業推進体制として、市商連内に旧財団スタッフを中心に「ハマふれんど室」を設置しました。

ハマふれんどは、市内中小企業(従業員300人以下)に勤める勤労者の福祉増進と中小企業の振興を目的に1970年(昭和45年)横浜市が設立した事業で、4950事業所・5万8604人(09年4月1日現在)が加入しています。

より多くの事業所に加入していただくことで本事業の基盤を強化させ、更に充実した福利厚生事業を展開、そして市商連及び各区商連の組織強化にもつながり、魅力ある商店街・個店づくりのための事業展開も可能となります。

このため市商連では、会員のニーズ把握に努め、より魅力ある事業の企画運営、そして告知活動の強化などを通して、新規会員の加入促進に努め、今後3年間で6千名の新会員入会を目標とする事業計画を進めます。



(1人あたりの掛金・事業主負担)

月々500円

対象	加入方法	利用の範囲
従業員 役員	全員加入	全ての福利厚生メニューを利用できる
非常勤 勤務者	任意加入	
事業主	任意加入	融資は利用不可

* 掛け金は損金又は必要経費として全額計上できますので、税制面で有利です。

お問い合わせ・加入申込み

TEL. 662 4435
午前8時45分～午後5時15分
土日祝日年末年始を除く
ホームページ <http://hamafriend.jp>



仕掛ければ動き出す!

『より早い横浜開港150円商店街! 狙いは大当たり!』

鶴見区・つくの商店街協組 理事長 高橋 英昭さん



イベント当日もかけまわる高橋理事長

知名度アップに成功! NHKなどメディアで報道

つくの商店街の知名度は今年4月以降、急上昇した。4月11日に実施した「横浜開港150円商店街イベント」が殆どの新聞、そしてNHKテレビでも大きく取りあげられたからだ。このため、「次はいつ」、「場所は」といった問い合わせが、つくの商店街事務局などに寄せられている。また、「次の6月は気合いを入れて準備する」という店も増えている。

このイベントを企画・運営した中心メンバーが同協組の高橋英昭理事長(52歳)だ。当初は、他の商店会同様、6月13日に第1回目を開催する予定だったが、事業部会などで検討しているうちに

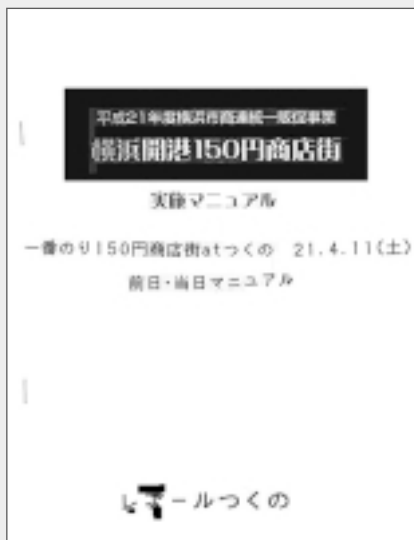
「6月の本番前に品揃えや売り方の予行演習をやってみよう。4月なら、最初の150円商店街なのでマスコミも大きく取りあげてくれる」ということになった。

留意点まとめた文書を作成 参加店募集に各店を回る

一番の問題は、どれだけ多くの店に参加してもらえるか。加盟店向けに、150円商店街の目的や品揃え、留意点などをまとめた参加申込書を作成・配付した。しかし、申し込んだのは20店余りで、「加盟店の7割」という目標には遠く及ばない。

危機感を抱いた高橋さんは、事業担当理事の太田昌克さん(51歳)と共に各店の勧誘に回り、84店中58店の参加にこぎつけた。

準備作業用マニュアルも作成(表紙)



そして、「第1回の150円商店街がこけるわけにはいかない」と、いろいろなイベントを盛り込んだ。それら関係者との打ち合わせや関係機関の支援、協賛会社取り付けなどに奔走。

それらの仕事は高橋さんだけではとてもこなせない。同協組には太田さんら4、5名のコアな活動的役員、いざという時にはかけつけてくれる役員や一般組合員が10名ほど、そして2名の事務局員らが動いてくれる。まつりや安全安心なまちづくりなどを通じて、町内会や行政などと日頃から連携をとっていることも、役に立っている。

汗も知恵も出す! 人柄にまわりが協力

高橋さんは去年、同協組の理事長に



イベント前日の晩の準備作業。この日は10人ほどが集まり、のぼり旗50本の組み立てや設置、×ゲームの会場設営などを行った。役員だけでなく一般組合員や高橋さんの友人なども手伝ってくれた。

「Capock」のよこさんは、ブログで「商店街って、なんかいるんなものがあるってワクワクするよね。あの雰囲気ですごく好きです」と語っている。高橋さんたちには最高のほめ言葉だろう。

選出されるまで売り出し部長などを10年近く務めてきた。地元出身ではないが、商店街の店舗で生まれ育ったこともあり、商店の人たちの気持ちを理解できる。人の話をよく聞き、話し方もやさしい。52歳と理事長としては比較的若いこともあって、ほかのメンバーも仲間感覚で話せる。だから理事会などでは活発に議論が交わされるとい

う。マニュアル作成や準備作業にも率先して参加するなど汗も流す。イベントの参加店アンケートの集計結果を詳しく分析、次回の参考にしようというつもりだった仕事もした。

たびたび会合などに出られるのも、店(喫茶・食事の「タンゴ」)は、奥さんとお母さん、そして従業員らに任せられるからだ。

大鼓判!



鶴見区・鶴見銀座商店街協同組合
海戸園 大平憲太郎さん

商店街仲間の後押しで 「青いバラ」を商品化



青いバラにハサミを入れる大平さん



これが定番商品として期待する青いバラ



海戸園店内

「孫にあげたい」という
ご近所店主の依頼から

「ミルキイローズ」という青いバラをご存じだろうか？

鶴見銀座（愛称、ベルロード）の生花店、海戸（かいと）園の若き店主、大平憲太郎さん（34歳）が知ったのは昨年10月。同店近くの「サンライト・ママ」（ランチ&洋風居酒屋）で昼食中、ママさんから、「大平君、『プリキュア5000』というテレビアニメ知ってる？」と聞かれたことからだった。

このアニメ番組では、いつも後半になるとミルキイローズを使ってヒロインが変身するので、この青いバラは幼い女の子たちに絶大の人気。ママさんの孫もお気に入り、同じようなバラがあれば孫にプレゼントしたい」という。「青いバラはマイナーなので高いし、仕入れに時間がかかる。でも白いバラに青い染料を使ったら安くできるかもしれない」と説明すると、「そ

れならやってみて」と頼まれた。サンライト・ママは大平さんお気に入りの店。大平さんもメンバーである商店街事業部の第2会議室的な空間でもある。大きなイベントの打ち上げでは、「苦勞様」と、いつも採算抜き。遊び心で1カ月の試行錯誤

そんなママの頼みでもあり、「青いバラにチャレンジするのもおもしろい。カーネーションで経験した染色手法を試してみよう」と遊び心が湧いてきた。翌日、市場で白いバラ100本と染料を購入、その日の午後、試作。不満の出来だったが、「とりあえず、ママの店に持参した。

改めて番組をみると、ミルキイローズは試作品よりも明るい青。正確な色調にして、「お孫さんを喜ばせよう」と翌日、市場で3種類の白いバラを購入、試行錯誤を続け、約1カ月、「どうだ！」というものができた。子供たちには大好評だった。とはいっても、単品で売ることまでは考えず、いろいろな花を盛り合わせた花束に混ぜる程度。月30〜50本ぐらい。自身のブログにも簡単に紹介したが、あまり反響はなかった。アニメ番組も今年2月で終了。子供たちは喜んでくれたし、もったいないだろう」と生産中止を考えた。

ブログと店頭陳列で
新規のお客が増加

そんな大平さんに、「おもしろいよ。もっとブログで説明したら」とはっぱをかけたのが八木幹雄さん（文具・事務用品のマル八社社長）ら商店街のメンバー。渋谷、詳しく説明した記事をアップ。すると、アクセスが急増、注文もきた。また、「傷まないように」とそれまでショーケースに入れていたのを「売れないのだから」と店頭に並べたところ、「珍しい。親しい人の誕生日に贈りたい」、「プレゼントされて、気に入った」という見知らぬお客さんも増えてきた。

「売れっこない、といった先入観念は捨て、とにかく試してみること、そして知ってもらったこの大事さを改めて痛感した」という大平さんだ。

海戸園

鶴見駅西口「花七」の支店として67年頃開店。87年に、海戸園として独立。大平さんは好きだった自動車関係の会社に就職したが、9年ほど前、80歳を過ぎた祖母（当時店主）が、もう店を畳む」と言い出したことで継ぐ気に。仕入れの経験もなかったが、祖母の励ましと市場の先輩たちの協力で仕事を覚えていった。現在は、母親と叔母の3人で店を切り回している。

公益目的事業について

新制度の「公益目的事業」は、公益法人認定法の別表に掲げる種類の事業で下記の通りですが、詳しくは、『神奈川県財団ニュース』（5月号）をご覧ください。

- A 学術、技芸、慈善その他の公益に関する別表各号に掲げる種類の事業であって、
- B 不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものをいう。

Aについて

個々の事業が別表各号のいずれかに該当しているかを検討

- 公益法人認定法 別表（第二条関係）
- 一 学術及び科学技術の振興を目的とする事業
 - 二 文化及び芸術の振興を目的とする事業
 - 四 高齢者の福祉の増進を目的とする事業
 - 七 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業
 - 八 勤労者の福祉の向上を目的とする事業

Bについて

個々の事業が特定多数の者のみの利益の増進になっていないかどうかの観点からチェックポイントに沿って検討
*事実認定に当たって留意すべき点であり、これらを助案して委員会で審議の上、判断することとなる

事業区分	チェックポイント
検査検定	
研究開発	
表彰	
施設貸与	

検査検定	不特定多数の利益増進への寄与を明示 検査検定の基準を公表？
------	----------------------------------

神奈川県中小企業振興財団 事務局・Tel 045-312-5186

旅行&コンサート

植原信吉さん

鶴見区・仲通り商店街商和会

植原信吉さん(74歳)は、昨秋、雑貨・化粧品店を畳んだ。東京ガスに勤めていた26歳の時、友人から頼まれ鶴見区の仲通りで商売を継承して以来、47年目のことだった(奥さんは現在も近所で飲食店経営を継続)。

最初は借り店舗だったが、夫婦でまじめに働き続け、近くの地主さんから頼まれて店舗付き土地を購入、その後は近所に戸建て住宅も購入するまでになった。

長年、商売を続けてこられたのも地域に支えられたからこそ。生まれと育ちは埼玉上里町だが、今では横浜市の鶴見区が第2のふるさと。幸い健康にも恵まれているので、できる限り、地域のお役に立ちたいと地元の仲通り商店街商和会会長、鶴見区商連副会長、鶴見区納税貯蓄組合副会長、鶴見川桜・緑化実行委員会事務局等々多くの団体役員を務めている。

安全安心の防犯パトロール、鶴見川より発注責任者は異なる、(2)土曜遅出で品出し以外の仕事、(3)隔日御用聞き・配達(社長と1日交代)、(4)随時 レジ、など。日曜は原則休みだが家で待機することも。

同店は、JR中山駅から北に約1キロ、高台の住宅団地にある。住民の高齢化が進んでいることもあり、配達売り上げの3割を占める。お年寄りの支持を得ることが大きな課題だ。そこで、「一歩踏み込んだサービス」を心がけている。

商品配達、希望の場所まで運び「ありがとう」と言われた時など、「本当に商売をしていてよかったと思える」という雄一郎さん。「喜ばれるサービス」をすることで利益もついてくる。「この気持ちを持ち続けてほしい」と社長も期待している。

緑区・谷津田原商栄会 はっさく
コミュニティ・ストア北八朔町こやなぎ店
店長・小柳雄一郎さん

「一歩踏み込んだサービス」で喜ばれたい

小柳雄一郎さん(34歳)が大学卒業後、3年余り続けたサラリーマン生活から両親の経営する、コンビニエンスストアのスタッフとなつて約8年。厳しい不況で売り上げ的には楽ではないが、「会社員時代より、責任が重くなったが、自分の仕事という充実感が高まった」と満足している。

父親で株こやなぎの社長小柳新一さん(61歳)は、「助かっている。結婚して嫁さんも一緒にやってくれているので戦力は倍増。おかげで僕は音楽会などにも行けるしね」と感謝する。

店長・雄一郎さんの仕事は、(1)月曜・金曜 朝7時前に店に出て商品の陳列、日配品等の発注(商品群に

港南台にはもともと、多くの商店が軒を連ねる商店街はありませんでした。でも、魚、肉、野菜、文房具などいろいろな専門店があちこちにあり、それぞれ頑張っていました。私もそれらの店をよく利用していて、来客のある日などは、近所の魚屋さんにお皿を持ってお刺身などを買いにいったものです。おいしいだけでなく、その場でさばいてきれいに盛りつけまでしてくれるので助かりました。

7、8年前からそんな店が殆どなくなりました。最近では、日常の買い物も港南台駅前のバーズ(商業ビル)、高島屋などで済ませることが多いですね。



父親の新一さんと。雄一郎さんは、緑区・若手経営塾の一員。見識を広げ人脈づくりに役立っているという。その若手経営塾で取り組んでいるズーラシア募金箱(右)を同店でも設置。



同店は9年ほど前、酒販店から大手食品問屋、国分が主宰するボランティアチェーンに加盟、コンビニエンスストアに業態変更した。年中無休、営業時間は午前7時から午後11時。両親の仕事は格段に忙しくなった。「手伝わな

くては、弟や妹は戻りそうもない。やるとしたら自分だろう」と商売の道に入った。

父親で株こやなぎの社長小柳新一さん(61歳)は、「助かっている。結婚して嫁さんも一緒にやってくれているので戦力は倍増。おかげで僕は音楽会などにも行けるしね」と感謝する。

店長・雄一郎さんの仕事は、(1)月曜・金曜 朝7時前に店に出て商品の陳列、日配品等の発注(商品群に

My refresh

ただいま 修業中



納税キャンペーンに参加した際の植原さん

植原信吉さん(74歳)は、昨秋、雑貨・化粧品店を畳んだ。東京ガスに勤めていた26歳の時、友人から頼まれ鶴見区の仲通りで商売を継承して以来、47年目のことだった(奥さんは現在も近所で飲食店経営を継続)。

最初は借り店舗だったが、夫婦でまじめに働き続け、近くの地主さんから頼まれて店舗付き土地を購入、その後は近所に戸建て住宅も購入するまでになった。

長年、商売を続けてこられたのも地域に支えられたからこそ。生まれと育ちは埼玉上里町だが、今では横浜市の鶴見区が第2のふるさと。幸い健康にも恵まれているので、できる限り、地域のお役に立ちたいと地元の仲通り商店街商和会会長、鶴見区商連副会長、鶴見川桜・緑化実行委員会事務局等々多くの団体役員を務めている。

安全安心の防犯パトロール、鶴見川より発注責任者は異なる、(2)土曜遅出で品出し以外の仕事、(3)隔日御用聞き・配達(社長と1日交代)、(4)随時 レジ、など。日曜は原則休みだが家で待機することも。

同店は、JR中山駅から北に約1キロ、高台の住宅団地にある。住民の高齢化が進んでいることもあり、配達売り上げの3割を占める。お年寄りの支持を得ることが大きな課題だ。そこで、「一歩踏み込んだサービス」を心がけている。

商店街ユーザーの声 私の好みを知っていてくれる店



写真左から2番目が大澤せき子さん(66歳)。ほかの方々は、大澤さんが今年3月まで代表を務めた港南区消費生活推進員の仲間

「靴がいろいろありますよ」と必ず電話をしてから我が家まで来てくれます。車にいったばい靴と靴を乗せて、カタログだけで買ったこともありませんが、豊富な知識と適切なアドバイスがあるので失敗したことは一度もありません。この店は市内のあちこちにお得意さんを持ち、毎日のご用聞きに回っているようです。

港南台にはもともと、多くの商店が軒を連ねる商店街はありませんでした。でも、魚、肉、野菜、文房具などいろいろな専門店があちこちにあり、それぞれ頑張っていました。私もそれらの店をよく利用していて、来客のある日などは、近所の魚屋さんにお皿を持ってお刺身などを買いにいったものです。おいしいだけでなく、その場でさばいてきれいに盛りつけまでしてくれるので助かりました。

予算総会開催

「横浜開港150円商店街」など全議案を承認

市商連では、3月26日午後3時より、明治安田生命ラジオ日本ビルにて、平成21年度の事業計画及び収支予算案等について総会を開催、原案通り承認しました。

なお、総会に先立ち同日午後1時半より同会場で理事会を開催、平成21年度の事業計画及び収支予算案等を原案通り総会に諮ることを承認しました。
21年度の主な事業は次の通り。

1 商店街活性化事業

- ・ 横浜開港150円商店街（新規）
- ・ 6月から偶数月の第2土曜日、参加各商店街にて。
- ・ ハートフルコンサート2010
- ・ 2月27日（土）。詳細未定。

・ 横浜開港150周年記念行事

「横浜逸品支援事業」に参画すると共に「商店街の広報事業」を併せた横浜開港150周年記念行事を開催する。6月6～7日、中区日本大通り

2 横浜市勤労者福祉共済事業の管理・運営（新規）

愛称、ハマふれんど。詳細は1～2ページ。

3 商店街役員・商店経営者等の研修事業

10月頃、1泊2日、視察先未定。

4 会員の顕彰と交流事業

- ・ 商店街役員・優良商業従事者の表彰
- ・ 2月頃、会場未定。
- ・ 優良小売店舗の表彰
- ・ 審査は7月頃、表彰式は11月頃（横浜商工会議所共催）。

5 市商連情報化推進事業

- ・ 機関紙の発行
- ・ 通常号4回と臨時号1回。
- ・ 市商連ホームページの運営
- ・ 愛称「横浜の商店街」。
- ・ その他

6 共済事業

・ 機関紙の発行

・ 新年賀詞交換会

・ 1月7日、会場は横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ。

・ 機関紙の発行

・ 通常号4回と臨時号1回。

・ 市商連ホームページの運営

・ 愛称「横浜の商店街」。

・ その他

7 行政・関係機関・関係経済団体との連携・協力

地球温暖化対策、ゴミの減量・資源化などの環境保全や防犯活動などに、横浜市ほか市内の幅広い

団体と連携・協力する。

8 その他（昨年度で廃止の事業）

横浜開港150周年記念カード入会促進活動、地域活性化支援事業

5月26日に決算総会

午後3時より、明治安田生命ラジオ日本ビルにて開催します。議題は、平成20年度市商連事業の報告及び収支決算等（1時半より理事会）



平成21年7月1日

経済センサス - 基礎調査が全国一斉に行われます。

経済センサス - 基礎調査は、商店や工場、営業所、事業所、学校、旅館、学習塾、病院、寺院など、すべての事業所が対象となる大規模な統計調査です。統計調査の結果は、国や都道府県、市区町村などがこれからの行政を考える重要な基礎資料として活用されます。調査票が届きましたらご記入をお願いいたします。どうぞご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

横浜市行政運営調整局総務部総務課統計係 電話045(671)2104～2106
ホームページ『横浜市統計ポータルサイト』<http://www.city.yokohama.jp/me/stat/>

大型小売店舗の計画と届出書類を市役所で見るができます

横浜市内：問合せ先・縦覧場所・意見書提出先
【横浜市経済観光局産業立地調整課】Tel.045-671-2598
URL <http://www.city.yokohama.jp/me/keizai/jourei/rittihou.html>

届け出の内容

・新設（新設のみ店舗所在区の各区役所区政推進課でも見るができます）				縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称（所在区）	主な小売業者	開店日	店舗面積	
（仮称）戸塚ビル（戸塚区）	ヒマラヤ、三和、ニトリほか	H21.12.1	11,813平米	H21.5.16
ＴＯＣみなとみらい	（株）あおい書店ほか	H21.10.1	17,600平米	H21.6.25
プラザ栄光生鮮館コットンハーバー店	（株）ポートサイドリカー	H21.10.10	1,268平米	H21.7.13
・大規模小売店舗の施設の配置及び運営に関する変更				縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称（所在区）	主な小売業者	主な変更点		
キュービックプラザ新横浜（港北区）	（株）高島屋ほか	開・閉店時刻		H21.5.25
コープかながわ竹山店	生活協同組合コープかながわ	開・閉店時刻／駐車場利用可能時間帯		H21.7.13
コストコホールセール金沢シーサイド倉庫店	コストコホールセールジャパン（株）	開・閉店時刻／駐車場利用可能時間帯		H21.8.24
キーサウス	（株）メガスポーツ、日本トイザらス（株）	駐車場出入口の位置		H21.8.24

市商連事務局、6月から横浜市技能文化会館に移転

市商連では6月1日から事務局を移転します。場所は、ＪＲ関内駅北口から徒歩3分、大通り公園沿い。

住所 〒231-8575 横浜市中区万代町2-4-7 横浜市技能文化会館5階
電話 662-0874 FAX662-5888
（いずれも従来通り）

* ハマふれんど室の事務所
同じフロアの別室（電話 662-4435）

横浜市・市井の名店継承事業 店舗継承が2件実現 緑区の仏具店と鶴見区の不動産業

昨年度(08年度)の市井の名店継承事業で、2件の店舗継承がまとまった。

1件は緑区・中山商店街協同組合のかがや仏具店、もう1件は鶴見区・三ツ池公園商店会の三ツ池商事(不動産)。

「感謝され、有望な関連事業も」

仏具店継承の奥森さん

かがや仏具店は、横濱幸平さん(67歳)が中山商店街で87年に創業した店だ。経営は順調に推移、06年には鶴見区にも支店を出したが、体力の衰えと後継者がいないことで、中山店の営業権譲渡を決意。07年11月、本事業の後継者募集店舗として登録した。

この情報をホームページで知ったのが、奥森匡晃(まさあき)さん(41歳。相模原市在住)。省エネ関係の都内上場企業に勤めていたが、「いつかは独立を」



かがや仏具店を継承した奥森さんと
当面、一緒に働く横濱さんの奥さん

と想っていた。2年前、母親をなくし、葬儀、墓づくりなどでいろいろいるなかからお世話になったことを思い出し、かがや仏具店とマッチング。

「仏具店は、大事な人をなくした方にいろいろの専門知識を提供するだけでなく、親身になって励ますことで感

謝される」ことを横濱夫妻の説明から知った。夫妻の暖かい人柄、粗利率も高いこと、通常は1人で営業できること(同店の面積は約40平米で奥さんが1人で店番。ご主人は鶴見店を担当)に加え、インターネットの活用、ペットの葬儀や思い出グッズなど新たな市場開拓も可能、ということから同店の継承を決意した。

会社は3月で退職、すぐに同店で働きながら研修、5月から継承した。1、2年は横濱夫妻に手伝ってもらいつ予定。

「徒手空拳ではできなかった」

不動産業継承の川村さん

三ツ池公園商店会の三ツ池商事は、田畑光男さん(83歳)が20数年前、自宅で創業した不動産業だ。定年退職後ということもあって、「半分ボランティア」的に続けてきた事業だが、80歳を過ぎて引退を考えた。お子さんたちは別の道を歩み、何とか後継者をというる探したが見つからない。

そんな時にホームページで本事業の



三ツ池商事を継承した川村さん
(右)と前オーナーの田畑さん

ことを知った娘さんから「聞いてみたら」と言われ、「市が運営する事業なら安心」と、後継者募集店舗として登録、不動産業を希望していた川村訓義さん(58歳。鶴見区在住)を紹介された。

川村さんは、長年食品メーカーや外食産業に従事した後、住宅の耐震改修を目的とする市内青葉区の会社を有志とともに運営していた。そこで痛感したのが、「国が進める住宅の耐震改修は緊急を要する。しかし、横浜市には耐震改修に補助金や借入金に対する利子補給などの制度があるのに、それらを知らない人が多い」こと。不動産業なら、日々の業務を運営しながら、耐震建築の必要性和市が用意した支援制度の紹介を行うこともできるし、地域に貢献しながら楽しくやっていた。

そんな思いを知っていた同僚が「鶴見区の不動産業者が後継者を募集中」と教えてくれた。川村さんは、すぐに市に申し入れ、チャレンジャー登録。田畑さんとのマッチングでは最初から意気投合、1月から業務の引き継ぎを開始し、4月には事実上、事業を継承した。事務所と長年の信用、顧客をそっくり引き継ぐことができ、今までの経営方法まで教えてくれるので、「ゼロから始めるより格段に良い」(川村さん)。

通常の不動産業のほか、耐震改修、そして、不動産業を切り口として、人々の幸せと安全なまちづくりに貢献したいという川村さんだ。

* 市井の名店継承事業

今年度から 空き店舗対策とも連動

「長年の営業で地域に根付き、自分が引退後も店舗は残したい。しかし、後継者がいない」という店舗経営者と、「地域に根付いた店舗を継承したい」という店舗継承希望者(チャレンジャー)をつなげる事業。地域での信用、知名度、顧客を継承できるほか、品揃え、販売ノウハウなどを学べるメリットがある。2005年度から横浜市が始めた。

今年度から「バトンタッチ・店舗よこはま」と事業名を改称した。また、従来は「同じ業種の継承を原則」としていたが、今年度は違う業種にしてもいいことにしたほか、商店会がオーナーの理解を得て、空き店舗対策に取り組む場合は、その商店街に必要とされる業種・業態の創業を希望するチャレンジャーを紹介できるようにした。



南日吉商店会でのラリー受付風景(上)とグリーンライン1周年のヘッドマークをつけた電車(下)

イベント

川柳コンクール

保土ヶ谷区の洪福寺松原商店街振組が、4月25日から「春得市」の一環として川柳コンクールを実施。今年も横浜開港150周年にちなみ、テーマを「横浜」とした。応募は約160通。5月10日の審査会で、松原川柳大賞(金賞)に選ばれたのは「初孫は 港よちよち 赤い靴」という作品。なお、第1回の昨年はテーマなしで、金賞は、「低価格 つい買い過ぎて ダンナ呼ぶ」。

グリーンライン1周年で沿線3商店会がお花見ラリー

都筑区の北山田商業振興会と川和商店街、港北区の南日吉商店会は、3月28日、地下鉄グリーンライン開業1周年記念のスタンブラリーを合同で開催。参加者は各商店会の受付でラリー台紙にスタンプを押してもらい、川和にある市交通局の車両基地で提示すると、「1周年のへ

ッドマーク入り車両」をバックに記念撮影してもらい、その写真入り記念缶バッジを進呈される。

3商店会を回り、バッジを進呈されたのは約600人。その他の人を含めると約千人が車両基地を訪れた。

また、各商店会ごとに独自のイベントを実施した。

商品開発

和洋菓子店5店が共同でセット商品「大倉山梅づくし」

港北区・大倉山商店街振組の和洋菓子店5店は、横浜開港150周年、港北区制70周年を記念し、詰め合わせ菓子セット(9品目10点で1500円)、「大倉山梅づくし」を開発した。

詰め合わせる菓子は各店が日頃から売っている自慢の逸品だが、「大倉山梅づくし」として1つの箱に入れて売るのがミソ。大きなイベントの時のみの限定販売。

お披露目は、2月28日〜3月1日の「大倉山観梅会」。各200箱ずつ販売したが両日とも10分程度で完売!

ただ、第2弾として5月9〜10日、赤レンガ倉庫前での「横浜18区紹介デー」では、用意した200箱のうち半分しか売れず、課題を残した。

これまではあまり交流のなかった同業店の店主らが、「商店街を盛り上げていく中で各店の売り上げを伸ばしていく」という機運が生まれつつある「の」が大きな成果という。

定額給付金セール

プレミアム商品券

南区の横浜弘明寺商店街協組は、5月22日から、額面1万1千円分(500円の商品券22枚)を1万円で販売する(口数未定)。有効期限は6月末。宣伝は折り込みチラシと店頭チラシなど。

保土ヶ谷区の上星川商店会は、5月25日に額面1万5千円分(千円券12枚と100円券30枚)の商品券を1万2千円で販売する。先着3000口。有効期限は7月末。また、参加店のうち10店はこの商品券で買い物をするスタンプ倍進呈などのサービスをする。

神奈川区の大口通商店街協組は、5月31日から、額面1万2千円分(500円券24枚)の商品券を1万円で販売する。先着5000口。有効期限は6月末。宣伝は折り込みチラシ、店頭チラシ、立て看板など。

旭区商連は、6月1日から、額面1万1千円分(500円券14枚と200円券20枚)を1万円で販売する。先着1400口。有効期限は8月末。参加は8商店会。宣伝は、ポスターのほか町内会の回覧、地元紙への広告を予定。運営は、最近発足した青年部が中心となる。

レシート抽選で「低」額給付金

神奈川区の六角橋商店街連合会が、6月13日(土)開催の「横浜開港150円商店街」を含む、6月12〜14日に行う。景品は、「低」額給付金千円札を100本。

お客様にも、街の人たちにも喜ばれ、ちょっとばかり尊敬されること!



お店も、商店街も、優しく変わります。

お年寄り・からだの不自由な方々のために、ご設置いただきたい「優先席」です。

お問合せ・お申し込み
0120-834-096
<http://www.orange-seat.com>
オレンジシートプロジェクト事務局

オレンジシート 本体ホワイト/文字オレンジ/木製/折りたたみ式 ¥7,980(税込)